

第3回 登別市中央地区まちづくり協議会 議事録

開催概要

日 時 令和5年7月24日(月) 18:00~19:00

場 所 登別商工会議所3階

出席者 別紙のとおり

議事内容

1 開会

総務部本庁舎整備推進グループが進行

2 あいさつ【総務部部長】

- ・前回の協議会において、ワーキンググループから提案を受けた3案を元に協議を行い、今後の協議の根幹となるコンセプトとして、「観光とまち つながる つなげる 人と人 ホットするまちづくり」に決定した。
- ・本日は、決定したコンセプトを元に、今後ワーキンググループでどのような協議を行っていくのか協議していただきたい。
- ・現庁舎跡地の利活用だけではなく、中央地区におけるまちづくりに関する具体的な協議を進めていきたいと考えている。

3 議 事

- (1) 今後のワーキンググループにおける協議事項について

(会 長) 協議会の成立報告

(事務局)

- ・新庁舎について情報提供（別資料）
⇒事務局の情報提供について質疑等無し

(事務局)

- ・前回の協議会において、コンセプトを「観光とまち つながる つなげる 人と人 ホットするまちづくり」に決定した。
- ・決定したコンセプトを基に、今後のワーキンググループで、以下の3点について協議していきたい。
 - ①現庁舎、アーニス周辺的环境整備について
→（例）景観づくりやイベントが開催しやすいように歩道整備をする。中央地区へ来たくなるようなイベントの開催等
 - ②中心地にある商業施設の活性化について
→（例）中心地にある未利用地や空き店舗の利活用、周辺地域から中央地区への誘客に関する取組等
 - ③現庁舎跡地の具体的な利活用方法について
→（例）宿泊施設、多機能な商業施設、イベントができる広場等
- ・協議会の委員へ、まちづくりを考える市内の団体に所属している方から、アーニス店舗内の図書館本館の設置等について提案書が提出された。

協議

(委員A)

- ・財源についてどのように考えているのか。

(事務局)

- ・民間施設の誘致となれば市役所から財源を用意するということは基本的には考えていないが、誘致にあたり有利な条件を提示する等、企業として進出しやすい環境を整える必要はあると考えている。
- ・公共的な施設が必要だという意見があれば、市の方で整備することも考えられるが、その場合は、財源を見つける必要がある
- ・市としては、まちづくりを考えるうえでは民間施設を誘致したうえで活性化に繋げていきたいと考えている。

(委員A)

- ・ワーキンググループ等会議で要望したものを立ててくれると考えている方もいる可能性があるのですが、財源等に関しては明確にした方がいいと思う。

(事務局)

- ・誤解の無いように丁寧な説明を心がけて行きたい。

(委員B)

- ・検討しなければいけない事が多い中、ゼロから話し合いをするのは難しいのではないかと思います。
- ・全国の事例や海外の事例なども参考に会議をしていくのはどうか。
- ・参考事例を真似するのではなく、登別らしさを足しながら案を出していく方が話がしやすいのではないかと。

(会 長)

- ・例えば「図書館本館のアーニス移転」など具体的に検討した方がいいことがあれば、ワーキンググループで話し合いの場として提供する。
- ・参考事例を登別の中心市街地に当てはめるというよりは、3つの協議事項をワーキンググループで具体的にしていき、中心市街地に合うような意見をまとめ、協議会へ提案したいと事務局は考えているのではないかと。
- ・様々な事例を検証し当てはめていくという結論がワーキンググループの中で出た場合は、そのようにしていくことも考えられる。
- ・協議事項の1つ目は全市観光という意味も含まれており、いわゆるソフトに関する部分である。1つ目に関しても、具体的に跡地に欲しいものがあるならば、それも含めた問題になってくる。

(委員C)

- ・実際に多くの人々が来たときに、駐車場をどうするのか。それだけのキャパが中央地区にはない。
- ・アーニスで大きなイベントをやっても駐車場が足りていなかった。中央地区に観光客が集まったときにその課題をどうやって解決していくかが課題になるが、中央地区では解決は難しいと考える。
- ・景観づくりといっても、中央地区に宿泊施設がないと難しいのでは。
- ・ワーキンググループで講話していただいた内容で、「時代が変わりすぎて、時代のニーズに合わなかったことが最終的に出てきてしまった。」という点が印象に残っている。様々な協議を重ね、今の時代に合ったものを具体的に、スピーディーにテーブルに上げていくというのが最大の課題だと思う。情報も大事だが、今の時代スピード感がないとどうしても遅れてしまう。
- ・アーニスに図書館の本館が来てくれれば、新しいタイプの図書館となって市民の方々にも喜んでいただけたらと思う。
- ・中央地区のまちづくりの具体的にスピードを上げて、今年か来年には誘致ができるかどうか、見込みがあるのかという所までをこの場で話し合い、また、補助金の問題も併せて考える必要がある。

(事務局)

- ・現在アーニスに執務室を置いている観光経済部が、令和8年度の9月から市役所の新庁舎の方に移転する予定である。観光経済部が退去した後に、新しいテナントがすぐに入居することが一番望ましいと考える。
- ・図書館については、具体的に図書館を作ると決まっているわけではないが、ワーキンググループで協議した結果、図書館が望ましいのではないかという話が出てきた場合、令和8年の9月に新庁舎へ移転予定なので、それまでに、設計を進める必要がある。
- ・観光経済部が抜けた後すぐに図書館として活用することを考えると、すぐに着工しなければならないことが考えられる。
- ・公共的な施設やサービスをアーニス内に作る場合の補助金について、令和7年度中に設計をするのであれば、令和6年度中に国や北海道の方に事前の説明と申請をする必要があると思われる。
- ・現在アーニスは、商業施設として動いているので、テナントが抜けた後に何も無い状態が続くことは好ましくないと考えている。市としても、スピード感をもって協議していく必要があると考える。

(委員D)

- ・町の中心に、雨が降っても、子供でも大人も、留まれるようなスペースが必要。
- ・市役所を移転する趣旨からすれば、新たな公共施設を作ることは考えられない。
- ・コロナ前に温泉地区から幌別地区へバスを用意して、地域のお祭りに参加するというのがあったが、そういう繋ぎが必要では。

(事務局)

- ・市役所の行政サービスだけを考えると、今後、市役所にこなくても手続きが済むような世の中になる考えているが、庁舎を整備するにあたっては、職員だけが使用する建物という認識ではなく、中央地区の賑わい作りに資するような、新しい庁舎ということを念頭に置きながら考えている。
- ・職員だけでなく、市民の皆さんにも建物自体を使っていたきたい。
- ・新庁舎について土日や平日の夜間を市民向けに開放することや議場を災害時に一時避難場所や多目的に使用することを想定している。
- ・公園について、災害時は一時避難場所、災害の活動の拠点の場所として活用し、日常的に多くの市民や市外からも公園を目的にきていただけるような、人が集まるような地域、公園にできないか考えている。
- ・ハードの面でも整備は一定程度必要だと考えてはいるが、整備したことにより賑わいがうまれるわけではなく、整備した施設や、インフラをどのようにかつようするかが重要と考えている。

(会 長)

- ・3項目について協議していく方向で進めたいが、意見でもあるようにアーニス関し先行して協議できるような形で進めていただきたい。

(事務局) 今日話した内容を参考にどのように進めて行くか、事務局で再度協議してワーキングに臨みたい。

(会 長) 3項目をワーキングで話し合いしていただくという形で進めて行きたい。

→質問・意見等なし

8 閉会

19時00分 閉会

以上